

サビエル生誕五百年



巡礼の道

357

藤屋侃士
(下松市幸ヶ丘)

銀座四丁目のホテル

心豊かな途中下車の旅

被災地、岩手県大槌町へは新幹線を利用す。前回は年末だった

こともあり、東京を素通りしたが、せっかくなら田舎者として

ては立ち寄らないともつたいない気がする。

今回は妻と一緒にあり、東京で途中下車して娘に会うことになした。娘に連絡すると、昼は忙しいので夜、ホテルで会う

ことになり、交通に便利なホテルを見つけ連絡するといふ。

数日後、ファクスで届いたホテルの住所を見てびっくり、銀座四

丁目とある。学生時代の四年間しか東京に住んだことはないので詳しくはないが、銀座四丁目にホテルがあると知らなかった。同時に銀座四丁目と聞いただけで、高いのではないかと思う。

以前は娘のマンションに泊まっていたが、最近ではホテルを取つてくれる。一つには、私がこの「巡礼の道」を書くのに何かネタになるようなホテルを選んでくれているようだ。

一昨年は文化人のホテルとして有名な山の上ホテル。あとから「山の上ホテル物語」という本まで送つてくれた。それによると、川端康成ら大勢の作家が常宿としていたこと有名らしい。

娘曰く「これで一話書けるのでは？」。

昨秋は改装オープン直後の東京ステーションホテルにしようとしたら、予約で一杯で無

理だった。

レンガ造りの東京駅丸の内側駅舎は重要文化財。今回の改装でステーションホテルが半分のスペースを占めたのが百五十室となり、最高値のロイヤルスイートは一泊八十万円を超え、最低でも三万円を超えるとか。予約で一杯でよかつたと言つて笑う。

さて、今回の銀座四丁目のソラリア西鉄ホテル銀座は九州の西鉄が多角経営の一環として二〇一一年(H23)九月にオープンしたものだ。

娘は「銀座四丁目にあるといつても高級ホテルではなく、観光客などのために交通の便が良いホテル。インターネットで調べるとどのホテルもいろんなキャンペーンをしており、それを利用すると決して高くはない」とのこと。こっそりフロ

ントで調べたらダブルは二人で定価二万四千元。とにかくうれしかったのは、松屋通りにあるこのホテルから歌舞伎座が歩いて五分のところにあることだ。

実は東京に着いた翌日が、長い間、歌舞伎座の初日。前売りは売り切れ、夜の部の二千円の立ち見しかないの、「本日初日」の垂れ幕の写真を撮つただけ。幸い近くのソニービルで超高精細4K映像で歌舞伎の世界という歌舞伎座開場記念番組が無料で上映されておられ、それが私の歌舞伎座見物。夕食は近くの銀座三越の食品売り場で買った弁当で親子三人の夜を過ごした。

貧乏たらしい話ばかりで恐縮だが、私にはこれで結構、心豊かな東京途中下車の旅である。

ここまで書いたところで、娘から携帯無料電話がかかった。「お父さんは夏にも大槌町に行くそうですが、そ

のころ私は学生たちをコンゴに連れて行くので東京にいません。ホテルだけでも手配しようか」。

娘不在なら途中下車はなし。世界地図を出しコンゴを探す。娘のお陰で私も心豊かに生きることができるとを神に感謝する。



銀座四丁目松屋通りにあるホテル

改築工事を終え、歌舞伎座オープン

